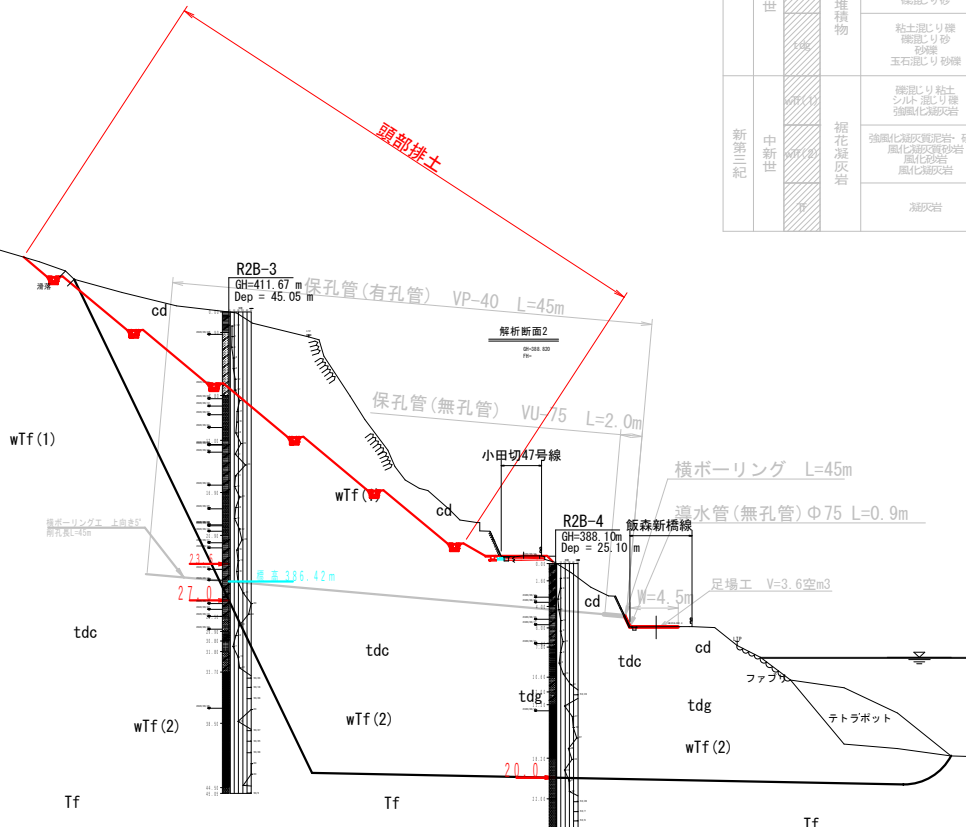
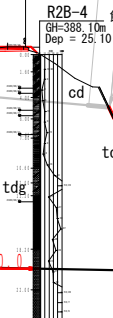
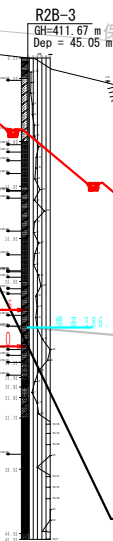
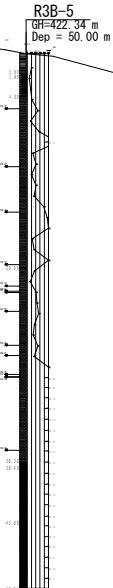
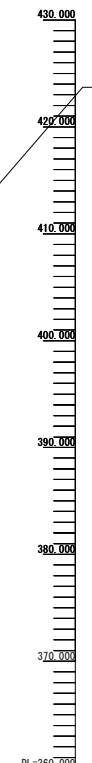
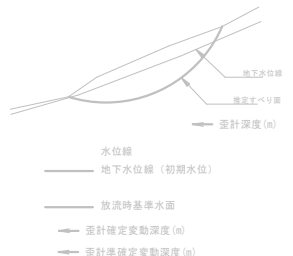


解析断面 II S=1:250

地質時代	記号	地層名	主な土質	N値	記 事
第四紀 更新世	cd	崩積土	礫混じり粘土 礫混じりシルト 礫混じり砂質シルト 礫混じり砂 礫混じり砂	4	礫岩崩壊の風化生成物 礫岩崩壊を含む、滑石・黄土 礫岩崩壊後の礫層の表面に分布
	tdc	段丘堆積物	礫混じり粘土 礫混じりシルト 細砂 粗砂 礫混じり砂	14	粘土・シルト・細砂を主な構成物とする堆積物。 層厚は10m以上に及ぶ。
	tdg	粘土混じり礫 礫混じり砂 砂礫 玉石混じり砂礫	30	円礫を主な構成物とする堆積物。 層厚は最大4m程度である。	
第三紀 中新世	wpf(1)	礫混じり粘土 シルト・礫 強風化凝灰岩	11	段丘堆積物を覆うように分布する礫岩強風化部。 礫岩部分と粘土化部分が交互に分布する。 層厚は、17~19m程度に及ぶ。	
	wpf(2)	強風化凝灰質泥岩・砂岩 風化凝灰質砂岩 風化凝灰岩 風化凝灰岩	32	段丘堆積物(tdc)に下位に位置する礫岩強風化部。 風化の進み一部軟弱化した箇所と硬質部が存在している。	
	tf	凝灰岩	53	最深部に位置し、コアは線状から短柱状コアとなる。 一部亀裂が発達する。コアは硬質であり安定している。	



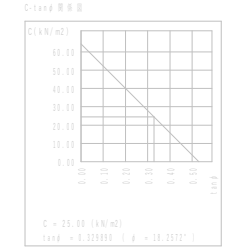
Bブロック

No	深度 (m)	すべり面 粘土の有無	地下水 の有無	歪変動	判定	すべり面の型
R2B-3	27.0	有	有	2.7m (B) 歪変動	地下水(有)・歪変動(有) すべり面粘土(有)	IV型 代並すべり
R2B-4	20.0	有	有	2.0m (A) 歪変動	地下水(有)・歪変動(有) すべり面粘土(有)	IV型 代並すべり

<すべり面形状>

- ・頭部地表面段差とR2B-3(27.0m)を結ぶ直線
- ・R2B-4(20.0m)を通りAブロックR2B-2(20.0m)とNo.2(H26) (11.0m)を結ぶ直線
と同勾配で犀川河床の勾配変化点を結ぶ直線
- 以上の2直線を結ぶ椅子型すべり面

項目	番号	単位	数値
標準貫入値	32	-	0.581
標準貫入値	0.75	-	1.122



令和4年度 飯森新橋線外1路線災害復旧工事			
期	3/24	解析箇所	1 / 用尺 1/250
飯森新橋線外1路線 長野市大字飯森甲(280)			
図	冊	冊	冊
長野市役所			